

次世代自動車センター浜松 活動レポート Vol. 295

■ 次世代自動車センターフォーラム2025

次世代自動車センター浜松では、毎年4月に、経済産業省自動車課様による基調講演により国の動向を把握するとともに、年ごとにテーマを設定したトークセッションや次世代自動車センター浜松の活動報告及び新年度の事業計画の説明などを内容とする「次世代自動車センターフォーラム」を開催しています。

本年度の「次世代自動車センターフォーラム2025」では、来賓の皆様からご挨拶をいただいた後、「自動車産業の最近の動向と政策対応」と題して、経済産業省自動車課 戸塚 課長補佐 様による基調講演をはじめ、当センターの試作部品等製作委託事業を活用して次世代自動車に関連した試作部品を製作した会員企業6社の皆様と当センターの望月センター長によるトークセッションを開催し、併せて試作の成果品を展示しました。また、望月センター長から当センターの活動報告と今年度の事業計画を説明しました。

■日 時： 2025年4月23日（水）13時30分～16時50分

■場 所： グランドホテル浜松

■参加者： 119社／207名

第1部 開会	
13:30～14:00	主催者挨拶 公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構 理事長 長田 繁喜 来賓挨拶 経済産業省関東経済産業局長 佐合 達矢 様 静岡県副知事 塚本 秀綱 様 浜松市長 中野 祐介 様 浜松商工会議所会頭 斉藤 薫 様
第2部 基調講演	
14:00～15:00	演題「自動車産業の最近の動向と政策対応」 経済産業省製造産業局自動車課 課長補佐 戸塚 悠二 様
第3部 フォーラム	
15:15～16:00	次世代自動車センター浜松の活動報告及び今年度の事業計画について 次世代自動車センター浜松 センター長 望月 英二
16:00～16:50	トークセッション テーマ：「試作委託制度を利用した技術開発活動について」 モデレーター 次世代自動車センター浜松 センター長 望月 英二 試作委託制度を利用して開発を行なった会員企業6社による先行取組事例の紹介 (株)コーリツ 様：電気自動車用中空モーターシャフトの開発 浜名部品工業(株) 様：電気自動車用中空モーターシャフトの開発 やまと興業(株) 様：自動車用コントロールケーブルの開発 永田部品製造(株) 様：超ハイテン材を用いた車体部品の開発 (株)フジコーポレーション 様：ベンチレーテッド型ディスクローターの新工法開発 (株)山北製作所 様：高平面度アルミ製品のプレス成形工法の開発
16:50	閉会

【開会】



【主催者挨拶】



【来賓挨拶】

＜関東経済局長 様＞



＜静岡県副知事 様＞



＜浜松市長 様＞



＜浜松商工会議所会頭 様＞



【基調講演】 ＜経済産業省 戸塚課長補佐 様＞



【フォーラム】

＜次世代自動車センター浜松の活動報告＞



【トークセッション】

＜参加企業6社様の紹介＞



＜トークセッション＞



【試作製作等委託事業成果品展示】



【参加者の声】

○基調講演

- ・近年の自動車産業の動向やトランプ関税の整理からGXに向けた政府の取り組みまで幅広く理解できた。
- ・国内、米国（トランプ政権）、欧州の動きや方針、それに対する政府の対応など、わかりやすくご説明いただいた。
- ・自動車生産の世界各国の市場動向や推移、EV化の影響や国の考え方を深く理解できた。
- ・幅広く深いお話が聞けた。市場、米国関税情報、ELV、樹脂25%リサイクル材、炭素材も規制対象になりうる情報は大変有益となった。
- ・自動車業界のEV動向以外に米国の関税問題や欧州の規制動向など、大変参考になった。
- ・EVの動向と国の支援事業の情報を知ることができた。
- ・連日報道されている米国関税については、ある程度情報をもってはいたが、欧州ELV指令についてはほとんど知らなかったので参考になった。
- ・現時点での自動車産業に携わる世界の情勢と日本における国の支援を理解した。

○次世代自動車センター活動報告

- ・次世代自動車センターの活動を活用させていただき、自社の活動を進めたいと思った。
- ・フォーラムに初めて参加したが、次世代自動車センターの成り立ち、目標を含め、活動について体系的に知ることができ、大変参考になった。今後はこれまでに以上に参加したい。
- ・今年度の事業計画、特にマルチパスウェイ、次世代モビリティに関して勉強したい。
- ・デジタル人材の育成、MBDへの中小企業の参画、静大インターンシップ活動に期待大。
- ・金属加工業者をターゲットにBEV車の部品分解を行うなど、金属加工業者の仕事を作ること、商社としても参考になった。自動車工学は若手育成に役立ており、最新技術の情報収集のためにセミナーに参加している。今後の活動内容にも期待している。
- ・ベンチマークルームを今後活用していきたいと思った。
- ・情報セキュリティ、AIセンサ等の支援事業が、自社にとってタイムリーであり情報の収集に役立った。
- ・固有技術を知る、不良を作らないことも省エネになることが、大変勉強になった。
- ・改善活動について、当社でも力を入れていきたいと思った。
- ・提案力と収益力の両輪をまわすために、中小企業が何をすべきかよくわかる内容だった。

○トークセッション

- ・今後もこの試作部品等制作委託事業を活用していきたい。
- ・試作を行うにあたり、どのような切り口で行っていけばよいかの考え方がわかった。
- ・他社の取り組み事例は大変参考になった。試作テーマと固有技術のマッチング、最初の段階が大事で難しいところと思った。
- ・企業の固有技術を探すところから支援が入ることの心強さと、実際にやるのは各企業ということで、単なる試作に終わらず、製品化までたどり着く実用性を感じられた。
- ・固有技術を活かした製品開発のヒントを与えていただいた。
- ・他社の取り組みと開発状況、固有技術の活用により技術力を高めているところ、発想が参考になった。
- ・試作部品等制作委託事業の取組みを知ることができた。弊社内でもテーマ提案を検討したいと考えている。固有技術のレベルアップを検討する機会となった。
- ・各社、既存事業に満足せず、様々なチャレンジをされていると感じた。
- ・課題の設定の仕方、技術的アプローチの視点など、加工分野は弊社と異なるが参考になった。
- ・取り組みの背景、課題の捉え方、進め方など参考になった。
- ・固有技術を高める目的であるが、各社の技術の高さに驚きを感じた。